

文化・芸術

《名画の扉》

大川美術館企画展
「もこもこどもと大川びじゅつかん」から
「〇△□のへや」より

※お知らせ 27日(日)は、アーティスト根本剛さんによるワークショップ「紙をおりたたんでつくるもこもこブック」を開催予定です。

(小此木)

丸と長方形—どちらの絵も正面から立ち上がり、明るく開かれた構成が目を引きます。オノサト・トシノブの作品は、円のくり返しの中にわずかなズレやゆらぎをたたえ、静かに画面に奥行きを生み出しています。

一方、菅井汲の作品には、明快な色面に斜めの動きが加わり、色と形が駆け抜けるような速度が感じられます。単純明快であることへの希求は共通しつつ、それぞれの抽象が異なるテンポと深みをもって、隣り合っています。

展示風景

オノサト・トシノブ

作品「集合のオレンジ円」

1962年、油彩・カンバス
45.5センチ×53.0センチ

作品「二つの丸」

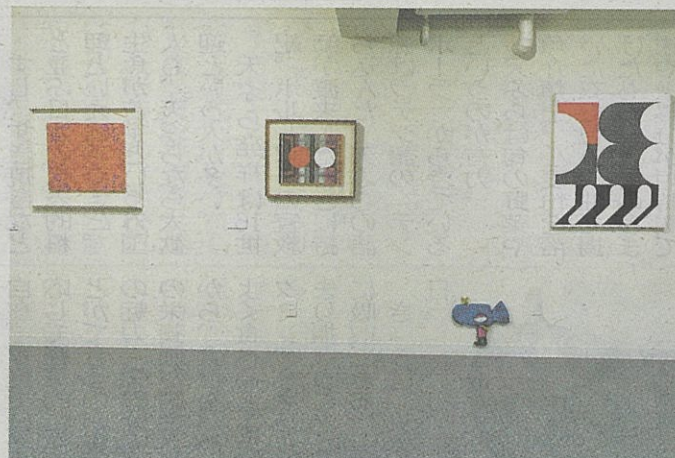
1958年、油彩・カンバス
31.8センチ×40.9センチ

菅井汲(1919〜96年)

「男と女Ⅱ」

1982年、アクリル・カンバス
84.5センチ×70.5センチ

と、もいもいども



【同時開催】特集展示…戦後80年松本竣介と同時代の画家たち